

<スクールアルバム>

小学部 お正月遊び 凧揚げ
寒空の下、元気いっぱい走り回って凧を揚げました



ウクライナ料理体験
スマホの翻訳を駆使しながら、
マッシュポテト&チーズ入り水餃子！



【高等部】
相生学院スクーリング・チャーチスクール生徒大会（1・2年生）



YWAM L.A.交流会
証を聴いたり、聖書クイズをしたり、
久しぶりの国際交流でした



お願い・ご報告

- 1月の行事は、主の守りの中一つ一つが祝福のうちに行われました。皆さまのご協力感谢您します。
- ウクライナからの避難民Kくん（14歳）、Aさん（16歳）が1月17日より登校しています。9月から登校しているIくん（15歳）を含め、3人の日本での生活が守られるよう祈りましょう。
- 卒業を迎える生徒たちの進路・受験のためにお祈りください。
- 来年度に向けて準備が始まっています。引き続き、新入生が多くあるようにお祈りくださり、また、学習の場が備えられ、スタッフが整えられ、カリキュラム等の準備も整えられるようお祈りください。

◆3月のスケジュール

- 1日(水) 2023年度高等部入試二次願書受付開始(～3月3日(金))
- 1日(水)～6日(月) 4限授業(14時下校)
- 3日(金) 学部別卒業行事
- 4日(土) 新年度保護者説明会・保護者スタッフ清掃(午前中)
- <6日(月) 高等部学力考査(二次)> *実施の時は、3限授業 昼食なし(12時下校)
- 7日(火)～14日(火) 3限授業・昼食あり(13時下校)
- 7日(火) 3限授業 午後、卒業式リハーサル(ダイヤモンドチャペル移動)(15時下校)
- 14日(火) 授業終了 昼食終了
- 15日(水) 合同礼拝・暗唱聖句大会(1限) スポーツタイム・香港宣教チーム交流会(2、3限)(12時30分下校)
- 16日(木) 机・椅子移動 学習発表会リハーサル(1、2限)
大掃除(3限)(12時30分下校)
- 17日(金) 修了式 英語暗唱発表 学習発表会(12時30分下校)
- 18日(土) 卒業式、HOPE 生修了式(9時～ダイヤモンドチャペル)(12時下校)
- 19日(日) 主日礼拝にて卒業生の紹介と証(ダイヤモンドチャペル)
- 20日(月) 代休
- 22日(水)～4月6日(木) 春休み
- 29日(水) クリスタルチャペルワックスがけ(保護者・スタッフ)
- 4月7日(金) 入学・進級式



のあインターナショナルスクール スクール通信 2月号

2023.Feb. 1

VO | .188

〒247-0024 横浜市栄区野七里一丁目 37-10

TEL:045-891-9982 FAX:045-895-3761

「分かち合い、祈り合い」

小学部 3・4年 担任 平野光衣

今年度も残り2か月となりました。今年度も子どもたちからたくさんのエネルギーと気づきを与えられた1年でした。そして、ここまでの歩みが守られたのは、保護者の皆さんをはじめ、サポートして下さる方々の励ましや祈りのおかげです。いつも本当にありがとうございます。

「1人でできる!」と思うことがあっても、振り返ってみれば、背後にはいつも誰かの存在があることに気づかされます。私はある時期、クラス運営をする中で「こうあるべき姿」を子どもたちに求めてしまい、それが思い通りにならず、勝手に焦りを感じていたことがありました。自分でどうにかしようと、いやどうにかするものだ、とどこか力んでいるようでした。しかし、神さまに祈る中で、「あなたは子どもの心に寄り添い、声に耳を傾けているのか」と問われ、ある日、あるクラスの子と1対1で話す時間を持ちました。「先生、生徒」という関係は一旦脇に置いて、最近の事や悩み、願いなど様々なことを分かち合いました。私は祈りの課題として、「3、4年クラスが祝福されるように祈ってほしい」と伝えると、その子は教師である私のために、そして「クラスが神さまの光で輝いて、その光が学校全体に広がるように」と心を込めてお祈りしてくれました。祈り終わった時、私の心にあった一人でどうにかせねば、という思いや相手に対して押し付けていた理想や焦りなど、張り詰めていたものがスッと溶かされて、呼吸できたかのような感覚を覚えました。共に祈ることで、「私は1人ではない」と神さまが励ましてくださった瞬間でした。そして祈りを通して、心に余裕が与えられたのです。

1人でどうにかしようとしていた私。できると思った自分は傲慢だったなと思わされます。

皆さんも今自分が置かれている状況を誰かに話すだけで、心が軽くなった経験はないでしょうか。そして苦しい時を経て乗り越えた時には自分が喜びを感じるだけでなく、悩みを分かち合った相手にも喜びを届けられることができます。悲しみは半分、喜びは倍増です。

私は子どもたちと時間を持つとき、最近の話をするだけでなく、最後は神さまにお祈りをして終わります。そして子どもたちから挙げられる祈りの課題は様々です。家族や友達のこと、ペットのこと、学校生活のこと。ある子は友達が神さまを信じることができるように…。日々、子どもたちは色々なことを感じて過ごしています。そしてそれを言葉で表現し、神さまにお祈りすることは大事だなと感じます。共に分かち合い、共に祈ることは、大きな力です。そして、神さまが祈りに応えてくださった時、「この前、あのこと一緒に祈ったよね、神さま応えてくださったよね!」と子どもたちに声を掛けると、「え! そうじゃん! 神さまやばいね!」とそんな反応が返ってきます。

私はこの一年を振り返り、多くの大事なことを子どもたちから教えられた歩みでした。ぜひ、皆さんも誰かと一緒に祈りする時間を持つてみてください。私たちには、家族や友人だけでなく、神さまというサポーターが背後にはついてます。

「まことに、もう一度あなたがたに言います。あなたがたのうち二人が、どんなことでも地上で心を一つにして祈るなら、天におられるわたしの父はそれをかなえてくださいます。」

マタイ18章19節

皆さんに祝福がありますように。

2月のカレンダー

日	月	火	水
			1日 合同礼拝（1限） 3限授業・昼食なし 11時50分下校 高等部学力考査
5日	6日	7日 H先生誕生日	8日 学部別礼拝（1限）
12日	13日	14日	15日 合同礼拝（1限） 視覚障がい理解特別授業
	← 学年末テスト週間（中・高等部） →		
19日	20日	21日	22日 学部別礼拝（1限） クラシックライブ（2・3限） 特別授業（14時～）下校 14時50分 保護者・スタッフ講演会（15時～）
26日	27日	28日	

- ・ 1日(水)は、高等部学力考査(一次)実施のため、1～3限の通常授業で、昼食はありません。在校生は、11時50分下校です。12時15分には、完全下校になります。ご協力をお願いします。
- ・ 2日(木)～3日(金)、スクールリトリートを実施します。対象は、小5以上です。ダイヤモンドチャペルで活動し、宿泊は上郷森の家になります。祝福をお祈りください。また、小1～4年生につきましては、2日(木)は、通常授業、3日(金)は、休校となります。ご理解・ご協力をお願いします。
- ・ 10日(金)5、6限、日本漢字能力検定を、本校を会場にして実施します。小学部から HOPE まで25名が受検します。準備してきた力が十分に発揮されるようお祈りください。受検しない生徒の皆さんは、授業(特別活動)を行います。
- ・ 13日(月)～17日(金)は、学年末テスト週間(中高等部)です。生徒の皆さんは学習した内容をもう一度確認し、テストに臨んでください。ご家庭におかれましては、励ましをお願いします。
- ・ 15日(水)、視覚障がい理解のための特別授業を行います。講師は大和田広美先生です。小学部と中高Hに分けて実施します。
- ・ 22日(水)の奉仕総合は、クラシックライブです。「100万人のクラシックライブ」(子どもたちに音楽を届けようプロジェクト)からヴァイオリンとピアノのプロ演奏者が来てくださいます。
- ・ 22日(水)14時～、療育や特別支援教育の指導法を専門とする、明星大学教育学部教授の星山麻木先生をお招きして、特別授業を行います。「自分の色を大切に」と、子どもたちに自分を知り、相手も大切にするヒントをお話していただきます。その後、15時～、「多様性の尊重と受容」という主題で、保護者・スタッフ向け講演会を行います。保護者・スタッフはどなたでも参加できます。なお、生徒の下校は、14時50分です。
- ・ 24日(金)1～4限、小4～6年生は、社会科見学で日産自動車追浜工場に出かけます。
- ・ 保護者、スタッフ向けバイブルタイムは、9(木)、16(木)です。13時15分からエスペランサの小屋にて行います。保護者担当は、鈴木、雨宮です。

※歯科検診、視覚障がい理解特別授業、多様性の尊重と受容の特別授業および講演会は、2022年度日本郵便株式会社年賀寄附金の助成を受けて実施します。

木	金	土
2日 小1~4 通常授業 歯科検診（対象者のみ）0先生誕生日	3日 小1~4年休校 Aさん誕生日	4日
← スクール1泊リトリート（小5以上 ダイヤモンドチャペル） →		
9日 保護者・スタッフ向けバイブルタイム	10日 日本漢字能力検定（5・6限）	11日
16日 保護者・スタッフ向けバイブルタイム	17日 委員会活動（6限）	18日
23日 M先生誕生日	24日 小4~6 社会科見学（1~4限） クラブ活動（6限）	25日

子育てnote

最近、スクールに集う生徒たちの中から洗礼を受ける子どもたちが、増えてきています。洗礼を受ける資格とは、どのようなものでしょうか。そのために必要な知識とは何でしょうか。

「愚かさは子どもの心の中に絡みついている。」箴言 22:15a

私たち親には、自分の子どもに品行方正な、良い子どもに育ててほしいと思う気持ちがあります。良い子に育てようとするのは良いことではありますが、逆にそれが的外れな育て方をしてしまうことになるかもしれません。というのは、子どもたちは、私たちが頭で考えるように、良い子には育ててくれないからです。彼らは、自分に働く罪の力、罪の性質について気付く必要があります。親があまりに、子どもはこうあるべき、ああ、あるべきと考えて、子どもに語り、またその行動を制御したりコントロールしていると、やがて子どもの心は塞いでしまうか、反発して親の願いとは反対方向に突っ走るようになります。子どもには、自分で考えて自分で行動することを励ましていきましょう。その意味で、子どもには、自分の思う通りに自由に遊ばせ、やりたいことを思う存分取り組ませてあげるのが一番です。子どもたちは自分の直感的な本能のままに生きます。その上で、その心のあり方についてふりかえる時、見つめる時を親子で共に持つことができればと思います。そのようにして、彼らに自分にはコントロールできない罪の強さ、罪の傾向について体験で知ってもらう必要があります。私たちは、自分自身の心の醜さ、罪深さを知ることなしに、イエス様と出会うことはできません。品行方正な体裁のよい人間として成長してしまうと、福音をなかなか体験することができません。それこそが一番残念なことです。

洗礼を受ける資格とは、自分は主イエスの愛をいただく資格の全くない者だと知り、自分の心の罪の性質を知っている人こそが、洗礼を受ける資格なのです。

校長 月井博



祈禱課題

- 1、次年度に向けてスクールのカリキュラム、スタッフ、場所などが整えられるように。
- 2、スクール関係者のみなさんが神に愛されていることを受け取って歩むことができるように。
- 3、スクール生がお互いを尊重し良い人間関係を作れるように。

今月のみことば（暗唱聖句）

「私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために宥めのささげ物としての御子を遣わされました。ここに愛があります。」第一ヨハネ4：10